

令和5年度第1回

隠岐の島町総合教育会議 会議録

1. 開催日時 令和5年8月4日(金) 18時00分～18時21分
2. 開催場所 隠岐の島町役場 1階 町民ホール101～103会議室
3. 出席者 町長 池田 高世偉
教育委員会 教育長 野津 浩一
教育委員会 委員 常角 敏
教育委員会 委員 山下 豊範
教育委員会 委員 谷田 一子
教育委員会 委員 藤野 雅栄

【事務局】

総務学校教育課長 金井和昭、社会教育課長 中村恒一
中央公民館長 田中 挙、総務学校教育課長補佐 藤田志生

4. 協議事項 小中学校規模適正化(北小学校)について
6. 傍聴人数 12名
7. 会議の経過 別紙のとおり
8. 会議録作成者 総務学校教育課 総務係 藤田志生
9. 会議録署名者 署名日 令和 5年 8月25日

町長 池田高世偉

教育委員 藤野雅栄

別 紙（議題の経過）

○開 会

事務局職員が出席者の確認をした後、町長は開会を宣言した。

（池田町長） 本町においては、春のしげさ踊りパレードに始まり、ウルトラマラソン、さら民間実行委員会による花火大会などが行われ、随分とまちに賑わいが戻ってきたと思っている。

ただし、町の経済活動は、まだまだコロナ前の状況に戻ってはいないが、船や飛行機は多くの乗客に利用いただいております、特に飛行機の出雲便については5月に搭乗率80%となるなど、沢山の方々にお出かけいただいているのも事実。これからお盆休みになっていき、帰省や観光など来島される方が増えてくるが、町としては、引き続き一人一人の感染に対するマナーを呼び掛けていきたいと考えている。

○会議録署名者の指名

町長は、藤野委員を議事録署名者に指名した。

○協議事項

（1）小中学校規模適正化（北小学校）について

事務局より次のとおり説明を行った。

- ・平成28年8月策定の「小中学校規模適正化基本計画」では、10年間の計画期間中は町内の小中学校の統廃合は行わないこととしていた。
- ・計画中間年の令和3年度には「小中学校規模適正化検討委員会」から、北小学校においては数年後には児童数が減り、事務職員や教員も減員されるなど大変厳しい状況が見込まれることから、北小学校の他校への統合について、教育委員会事務局は、保育園を管轄する保健福祉課と連携し、保育園、小学校の方や中地区・布施地区の地域の意見を聞きながら早急に検討していくことが望ましいとの答申を受けていた。
- ・小学校や保育園の一部の保護者から、現状や将来に対する不安を訴える声が届くようになっていたこと、また令和5年度には北小学校の1年生及び2年生がいない状況が見込まれていたことから、令和5年2月の令和4年度第1回隠岐の島町総合教育会議において「北小学校を令和7年3月に閉校し、4月から中条小学校に統合する」方針案を決定した。
- ・その後、地域や保護者に対し、説明会を実施してきた。

次に、引き続き事務局より資料「北小学校に関する現在までの状況について」「隠岐の島町立北小学校の統廃合方針の撤回を求める請願（写し）」に基づき、次のとおり説明を行った。

- ・令和5年4月22日に中地区区長会及び武良自治会との意見交換会を開催し、3月に区長会及び自治会から提出された要望に対する回答と意見交換を行った。また、保育園、小学校の保護者による合同保護者会の立ち上げがあると聞いており、町から、今後は区長会、自治会、保護者会の合同検討委員会を設置し、検討を進めることを提案し、この時点では了承されていたものと認識。
- ・5月18日に中村保育園、北小学校合同保護者会から質問・要望書の提出があり、回答は合同委員会で説明するため、5月25日に合同検討委員会を6月7日に開催する通知文を送付した。

- ・ 5月31日には中地区区長会及び武良自治会から「隠岐の島町議会だより」における令和5年第1回定例会の一般質問の内容に関する抗議文が提出された。また、すでに開催通知した合同検討委員会について、区長会及び武良自治会は出席することができないと伺った。
- ・ しかしながら、合同保護者会からあった質問・要望に対する回答は、保護者会には行う必要があると考え、6月7日に合同保護者会の代表の方に回答を説明し、意見交換を行った。
- ・ 同日には、区長会及び自治会から「北小学校の統廃合方針の撤回を求める請願」が隠岐の島町議会に提出され、6月29日に採択された。

池田町長が、事務局から説明のあった「北小学校に関する現在までの状況について」を確認する必要のある内容がないか委員に尋ねたが、発言はなかった。

(池田町長) 質問がないようなので、私の考えを述べる。本総合教育会議で方針案の決定をいただいたが、説明のあったとおり、地区からの請願が、議会において採択されたことから、方針案は取下げ、合同保護者会・地区と第1歩から協議をしたいと考えている。

また、合同保護者会でアンケートを実施すると伺っているので、その結果を参考にしながら、保護者や地域との議論の結果を踏まえて、北小学校の方向性を決定したいと思っている。

今後の議論のなかで一番大切なことは、子どもたちの教育環境がどうあるべきか、そのことを念頭に置き、皆さんの意見を聞きながら決定したいと考えている。

また、保護者の不安解消について努力していきたい。

以上が、現段階での私の考え方であり、意見がある委員はよろしくお願ひしたい。

(谷田委員) 今回のことについては、もう少し丁寧に回を重ねて、地域や保護者の方々の思いを吸い上げる必要があったと思っている。早急であったことは否めないと思っており、請願が採択されたということを、良い方向に話を持っていくための機会ととらえ、もう一度、町が地域・保護者の思いを吸い上げて方針を決定していけたら良いと思っている。

(山下委員) 地域・保護者の方々、子どもたちに心配をかけてしまったことは重く受け止めないといけない。今後、良い方向に向かえるように地域や保護者の方々と意見交換を行っていく必要がある。行政、地区、保護者会の三者が良い関係で、三位一体となって、協議をしてほしい。

また、保護者の方々のなかには意見が賛否様々とは思いますが、少数の意見が出しやすい会議の環境を作っていってほしいと思う。

さらに、今回は北小学校が議論となっているが、今後は他の地区についても議論するべき時が来ることが予想される。今回のことで、まちづくりも含めて、行政や住民の方々が早めに検討する意識を持つ必要があると認識した。

(藤野委員) 今回の議会での判断は重く受け止めないといけないということは理解している。ただし、今回の統合の議論は、行政・教育委員会主導で、児童数が何人だからという視点から始めたものではなく、現在の北小学校児童の保護者、これから子どもを通わせる保護者の方々から、急速に児童数が減っていくことへの不安感から声が上がったと受け止めており、その辺りをしっかりと話し合うことが大切であると考えている。方針の白紙撤回となれば、統合して

ほしいと思っている保護者の方は意見が言いにくくなることが危惧される。地区の分断とまでは大げさかもしれないが、今後は丁寧に声を拾い上げていくことが大事だと思う。

また、中地区では少し前から議論があったと聞いているが、それ以外の地区では今回の議論について、唐突に感じていることを耳にした。隠岐の島町全体の問題ととらえ、広報していく必要性も感じた。

(常角委員) 今後、1から話し合いを進めていくことになり、良い話し合いが行われることを期待したい。行政として、難しい部分もあるとは思いますが、地区・保護者と遺恨がないように進めていく必要がある。今回のことで地区内の人間関係が崩れていくことを極力抑えていく必要もあり、これは地区の区長会などもしっかりと考えていく必要があると考えている。なんとか地区内で和やかに結論を出せるようになることを期待したい。

(池田町長) 冒頭で言いましたとおり、合同保護者会が実施すると聞いているアンケートの結果を参考にしながら、あらためて合同保護者会・地区と第1歩から協議をしていくことを確認して本日の協議を終えたい。

合同保護者会・地区から十分に意見を聞いたうえで、総合教育会議で決定していきたい。

○閉会

町長は閉会を宣言した。